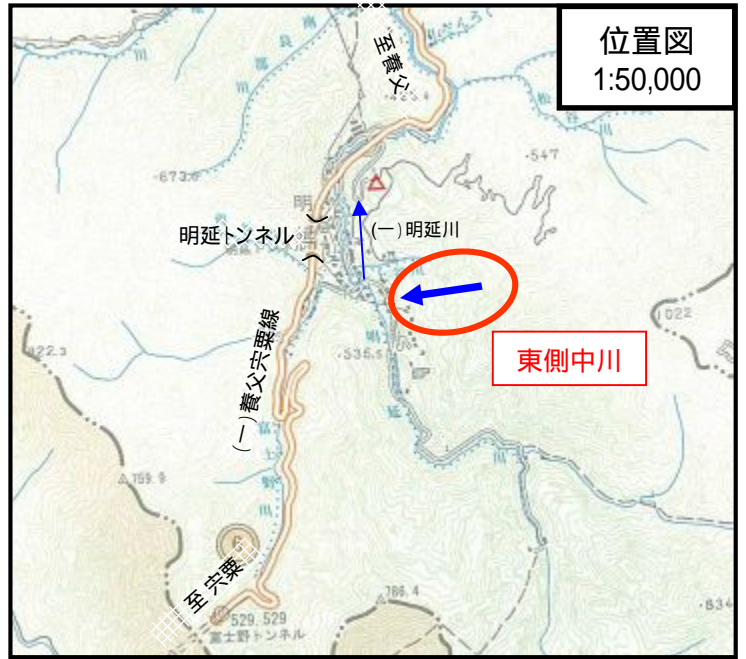
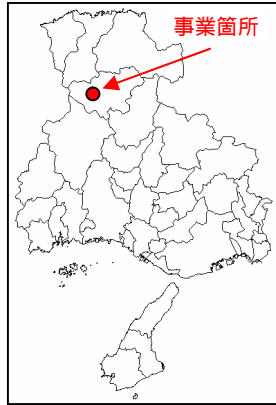


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (樋口和夫)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.7億円
		通常砂防事業 ひしがわなかがわ 東側中川	養父市 おおやちようあけのべ 大屋町明延	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
養父市大屋町明延				H23	H25
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 14.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系明延川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により山腹の浸食が進み、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ200m、最大幅250m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家11戸、集会所、市道</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・工食用道路として市道からえん堤設置位置までの寄り付きが容易であり、地元理解も得られていることから、円滑な事業実行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・近年に土砂が流出しており、次期降雨等によるさらなる土砂流出のおそれが高いことから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

ひがしがわなかがわ
東側中川
〔養父市〕



計画概略図
縮尺 1 : 3 , 0 0 0

